

う え だ 市議会だより

令和3年9月定例会
令和3年11月16日号

No.85



上田市議会Facebook



上田市議会Twitter

第3回表紙デザインコンテスト『広報広聴委員長賞』受賞作品
作品名：「真田石」
撮影者：坂口 満明さん

9月定例会の概要

決算

「令和2年度一般会計決算」を審査

認定



上田市の決算

「一般会計決算特別委員会」を設置

一般会計決算議案については、平成29年から「一般会計決算特別委員会」を設置し、総括的な審査を行っています。

委員長：半田大介 副委員長：佐藤論征
委員：議長、監査委員を除く25名の議員



一般会計決算特別委員会で附帯意見を付す。

附帯意見を付す

決算を認定した上で、2項目について「附帯意見」を付しました。

公共施設マネジメントの推進

上田市公共マネジメント基本方針の実行計画として位置づける公共施設の個別施設計画については、各所管部署において策定を進めてきたが、現在、34類型中8類型において計画策定に未着手であり、策定及び実行が遅れている状況にある。

類型ごとの具体的な対応方針を定める個別施設計画は、戦略的に公共施設をマネジメントしていく基本方針を遂行するための基礎となることから、早急に全類型における個別施設計画の策定及び取組を推進すること。

地方創生の推進

上田市においては、地方創生推進交付金を活用するなどして、人口減少への歯止めと地域社会の維持・活性化に向けた施策を展開しているが、人口減少率の低下といった効果を上げるまでには至っていない。

県内においては、人口が増加に転じている自治体もあることから、人口増加率の高い自治体の施策を調査研究するなど人口減少対策を強化し、人口減少幅の縮小に向けた地方創生の取組を着実に推進すること。

検証 令和元年度一般会計決算認定に際し、付した附帯意見に対する市の取組は？

附帯意見

●公共施設マネジメントの推進

上田市公共施設マネジメント基本方針に基づく取組を確実に推進すること。

特に、基本方針の実行計画として位置づける個別施設計画は、基本方針を推進する上で重要であることから、早急に策定すること。

市の取組

34類型の公共施設のうち、令和3年6月末現在で、スポーツ施設や保育施設など18類型の個別施設計画が策定された。残り16類型のうち8類型が策定中、8類型が未策定であり、引き続き施設所管課に策定を進めるよう働きかけていく。

附帯意見…本会議または委員会の審議対象である議案などを議決するにあたって、付随的に付けられる意見。

議案
補正予算
概要

令和3年度上田市一般会計補正予算（第6号） を審査

可決

新型コロナウイルス感染症に係る 事業をピックアップ



上田市の予算

499万円

地域女性活躍推進事業

生活者支援

コロナ禍により孤独・孤立で不安を抱えている女性が、社会との絆・つながりを回復できるよう、NPO法人の知見を活用した支援を実施

主な事業：一時宿泊支援、LINEを活用した相談など

187万円

公立保育園業務ICT化事業

感染症対策

保育園業務をICT化するシステム導入のモデル事業にかかる経費

園児の登降園管理や保護者との連絡などをICT化

2億1200万円

消費喚起応援事業(デジタルプレミアムチケット)

事業者支援

消費喚起応援事業第3弾として、スマートフォンアプリ「TicketQR」を活用した消費喚起キャンペーンを実施

- 対象店舗：市内の中小企業
- 実施期間：令和3年12月1日～令和4年2月28日
- ※チケット利用額が2億円に達した時点で終了
- 発行チケット（希望者全員に配布）総額1万円/ID

議案
補正予算
概要

追加計上された令和3年度上田市一般会計補正 予算（第7号）（第8号）を審査

可決

1億2740万円

飲食店等緊急支援事業

支給金額
1事業者につき
20万円

上田圏域に新型コロナウイルス特別警報Ⅱが発出されたことに伴い、県からは「市内飲食店等の営業時間短縮」の要請対象となる事業者へ協力金が支給されることにあわせ、休業・時短要請の対象外となる一定の支給要件を満たす事業者へは市独自に交付金を支給

4億1132万円 災害復旧事業

令和3年8月大雨災害に伴う災害復旧事業にかかる経費

- ・農地農業用施設災害復旧事業
上田地域：18カ所 丸子地域：22カ所 真田地域：10カ所 武石地域：19カ所
- ・林業施設災害復旧事業
上田地域：林道15路線、市有林1カ所 丸子地域：林道6路線
真田地域：林道3路線 武石地域：林道3路線
- ・観光施設災害復旧事業
武石地域：4カ所
- ・公共土木施設災害復旧事業
上田地域：3カ所 丸子地域：22カ所 武石地域：9カ所

意見書

2件の意見書を可決し、国へ提出しました。

今回可決した2件の意見書は、各委員会で委員全員の賛同を得て提案した委員会提出議案です。



意見書の詳細はこちら

コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実等を求める意見書

提出委員会：総務文教委員会

新型コロナウイルス感染症の対策に当たっては、引き続き地方財源措置を的確に行うとともに、アフターコロナに向けた地方活性化と新たな感染症に対応した体制強化のための十分な財源措置を図ることなど、9項目について要請するもの。

核兵器の廃絶と恒久平和を求める意見書

提出委員会：環境建設委員会

非核三原則の堅持と、核兵器の廃絶を目指して、平和首長会議（上田市加盟）が提唱する「持続可能な世界に向けた平和的な変革のためのビジョン（PXビジョン）」の実現を強力に支援することについて要望するもの。

本会議での討論

反対討論
(中村議員)

※賛成討論は無し

- ・軍事・外交・防衛等国の安全に関わる事項については、地方議会に議決する権限はないと考える。
- ・令和3年3月定例会で、類似の請願に対して行った反対討論では多くの議員に賛同いただき、審議結果が不採択となったことから、議会として一度示した国の安全について議決しないという立場をその任期中に覆すことは市民に混乱を招きかねないため、否決するのが妥当である。

9月定例会 賛否の分かれた議案

○：賛成 ×：反対 退：退席 議：議長（議長は表決に加わりません）

議案番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	金子	成瀬	松尾	中村	金井	石合	欠員	小坂井	松山賢	古市	金沢	飯島	原	宮下	齊藤	齊藤	井澤	土屋	西沢	久保田	渡辺	半田	池上喜	池田総	南波	佐藤	小林	林	佐藤	尾島
	和夫	拓	卓	悠基	清一	祐太		二郎	太郎	順子	広美	伴典	栄一	省二	達也	加代美	毅	勝浩	逸郎	由夫	正博	大介	美子	一郎	清吾	清正	隆利	和明	論征	勝
83	○	○	○	×	○	○		○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○

※議員氏名の上の数字は議席番号です。

議案番号	議案名
議案第83号	核兵器の廃絶と恒久平和を求める意見書

議案の審査結果は市議会ホームページからご覧いただけます。



総務文教委員会

●9月10日・13日・16日・29日に開催し、条例案1件、決算認定1件、予算案2件、事件決議案1件、議長要請1件、陳情2件の審査を行いました。

一般会計補正予算第6号

問 国、県主導で実施される新型コロナウイルス感染症対策事業に関しては、基本的に10分の10の財源充当がなされているとのことだが、事業を実施する中で市による経費負担が発生したことはあるか。

答 ワクチン接種事業において、当初、国が定めた単価が低く医師等に支払う報酬が不足したた

め不足分を市が負担したが、現在は改善されている。また、不足分についても地方創生臨時交付金を充てたため、一般財源による支出はない。

問

上田城跡整備事業費では、今後、武者溜りの整備や櫓の復元等を含めた総事業費として、約30億円を見込んでいるとのことだが、事業の実施に当たり国または県の補助制度を活用することは検討しているか。

答

現時点では、史跡の整備に対して総事業費の50パーセントの補助が受けられる国の制度の活用を検討している。

産業水道委員会

●9月6日・14日・15日・29日に開催し、決算認定3件、予算案4件の審査を行いました。

令和2年度上田市公共下水道事業会計決算認定及び剰余金処分

問 令和2年度の収入未済額は6303万2千円となっておりますが、依然として多額の滞納額があるとのことだが、今年度ほどのような対策を講じているか。

答

滞納者に対する指導監督の徹底、悪質な滞納者に対する滞納処分の実施に向けた準備を収納対策として取り組んでいる。また、料金収納の委託業者と、滞納者への対応状況について

情報交換を行いながら、対策を講じていきたい。

一般会計補正予算第8号

問 農地・農業用施設災害復旧事業において、緊急性を考慮する中で、入札から施工に至るまでの工程はどうか。

答

復旧を行う農業施設のうち、上田地域の2カ所、武石地域の3カ所については補助金を活用することから、今年11月の災害査定終了後に発注業務に入ることとなる。また、一般単独事業については、迅速に発注業務を行い、今年度中に工事が完了するよう進めていきたい。



「常任委員会」では、条例や補正予算、事件決議など一般会計決算以外の議案の審査を行いました。

●9月10日・13日に開催し、決算認定5件、予算案1件、請願1件の審査を行いました。

令和2年度上田市国民健康保険事業特別会計決算認定

問 保険者努力支援制度では、収納率に係る収納実績を点数評価した交付金が支払われるとのことだが、令和2年度の実績はどうか。

答 令和2年度の交付金は、平成30年度の収納実績が評価対象であり、評価点数45点、1点当たり約10万円の算定により、約450万円の交付を受けている。

一般会計補正予算第6号

問 公立保育園では、園児の登降園管理や保護者との連絡などに関する業務をICT化するため、試験的にシステムの導入を行うとのことだが、ICT化の目的と期待する効果はどうか。

答 業務のICT化は、現場で働く保育士の負担軽減と業務の効率化を図ることを目的としている。また、システムの導入により、保護者の利便性の向上や保育士が子どもにかかわる時間が増えることによる保育の質の向上が期待されるほか、保育士の負担軽減による新たな人材の確保や離職防止につながると期待を寄せている。

●9月14日・15日・29日に開催し、条例案1件、決算認定3件、予算案2件、請願1件の審査を行いました。

一般会計補正予算第6号

問 上田市自治会連合会がホームページを開設し運営していくとのことだが、市はどの程度関与していくか。

答 全自治会の基礎情報を開設時に掲載する予定だが、ホームページの更新作業を行う際にサポートする程度と想定しており、市の関与は最小限にしたいと考えている。

問 消防団員の報酬等の見直しを行うため上田市消防委員会の開催回数を増やすとのことだが、今年度の審議内容はどうか。

答 例年、年2回の消防委員会のうち、1回目は、市の重点目標や消防部での課題等に対する意見聴取を行い、2回目は、年度末に一年間の取組の報告や地域防災に関する意見交換を行っている。今年度4回開催する消防委員会では、いずれも消防団員の報酬等の在り方と消防団員の定数について審議する予定である。

総務文教分科会

●9月10日・13日・16日に開催しました。

やかな対応ができるように努めていく。

問 令和2年度の個人市民税の収納率は、前年度と比較し^{0.39}ポイント上昇している。同様に、市税の滞納者数は千人程度減少し、国民健康保険税とあわせた督促状の発送数も約1万通減少しているが、これらの理由をどう捉えているか。

答 収納率の上昇及び滞納者数、督促状の発送数の減少は、長期にわたり上田市が取り組んできた収納対策による成果のひとつだと捉えている。今後の徴収事務については、新型コロナウイルス感染症の影響等を注視しつつ納税者に対してきめ細

問 令和2年度から運用を開始した体育施設予約システムの運用状況はどうか。

答 予約システムでは優先度を分けて受け付けることで、ほとんどの利用者が予約を取ることができているが、本予約のためには実際に施設での手続きが必要である。今年度中の運用改善を目標に、現在一部の施設において、システムのみで予約手続きが完了する運用を試行している。

産業水道分科会

●9月14日に開催しました。

答 新型コロナウイルス感染症対応

問 新型コロナウイルス感染症対応

地方創生臨時交付金を財源とし、消費喚起応援事業や、緊急事態措置に伴い休業等を行った事業者を対象にした支援事業などを実施してきたが、今後、新型コロナウイルス感染症の流行期が再度到来した場合の経済支援、事業者支援の施策について考えはどうか。また、飲食店については、新型コロナウイルス感染症の流行が一旦落ち着いた後も、売り上げの回復力が相対的に弱いと考えるが、テイクアウト利用促進のため、情報発信を行う考えはあるか。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した経済支援、事業者支援としては、主に消費喚起と事業者への直接支援の二種類であるが、直接支援においては、支援理由が明確で、要件について事業者に納得いただける制度設計が必要である。いずれかの支援に限定するのではなく、様々な視点から有効な交付金の活用を検討したい。また、テイクアウトの利用促進については、関係部局などと連携し、情報発信の方法について検討していく。



「一般会計の決算議案」は特別委員会を設置し、その中に常任委員会を単位とする分科会を設けて審査を行いました。

●9月10日・13日に開催しました。

問 住居確保給付金給付事業は、国の支給要件緩和により支給者

数が増加したとのことだが、このうち高齢者や外国籍市民の状況はどうか。また、外国籍市民の再就労の状況はどうか。

答 令和2年度の支給者数は63人で、このうち60歳以上が12人、外国籍市民が11人という状況である。また、支援を行っている「まちさわぼ上田」によると、外国籍市民への継続支援は難しく、コロナ禍において雇用に結びつきづらいとの報告を受けている。

問 産後うつ予防と対策を目的に実施した産後ケア事業の令和2年度の実施状況はどうか。また、今後さらなる早期支援につなげるための考えはどうか。

答 産後ケア事業は、申請者からの申請を受けて、体力回復や育児に不安があると市が判断した方に対し、助産師が心身ケアや育児サポートを実施するもので、令和2年度の利用状況は、宿泊型サービスに12人、延べ14回の利用があった。早期支援への対応については、受け入れ先の医療機関等との調整を図り、検討していきたい。

●9月14日・15日に開催しました。

問 上田市空き家情報バンク制度について、物件に関する問合せ件数が増加している一方で登録件数の増加に至らない理由は何か。

答 登録を希望する物件が相続や親族の問題、接道や上下水道の状況などにより登録に至らない物件が多かったことが主な理由である。

答 現在埋め戻し工事を行っている防火水槽は、私有地に設置しているもので、家の新築や防火水槽が汚損していることなどを理由に埋め戻しの要望があった中から、近隣に消火栓などの代替水利が設置されている場合に限り実施している。防火水槽が狭隘地にあり、代替水利への置き換えが困難な場合は、可能な限り延命化を図っている。消火栓と防火水槽はバランスよく配置する必要があることから、防火水槽を減らしていくことは検討していない。

問 防火水槽の埋め戻し工事を行っているが、今後、消火栓や耐震性の貯水槽を増やし、防火水槽を減らしていくことは検討しているか。

答 現在埋め戻し工事を行っている防火水槽は、私有地に設置しているもので、家の新築や防火水槽が汚損していることなどを理由に埋め戻しの要望があった中から、近隣に消火栓などの代替水利が設置されている場合に限り実施している。防火水槽が狭隘地にあり、代替水利への置き換えが困難な場合は、可能な限り延命化を図っている。消火栓と防火水槽はバランスよく配置する必要があることから、防火水槽を減らしていくことは検討していない。

18人の議員が市政を問う

9月定例会一般質問要旨

9月定例会一般質問は9月6日、7日の2日間実施しました。また、新型コロナウイルス感染症対策として、1人あたりの質問時間を通常より10分間短縮して、実施しました。

答弁者名は以下のとおり省略して記載しています。

市長…市長	教育長…教育長
総務…総務部長	財政…財政部長
生活環境…生活環境部長	福祉…福祉部長
健康こども…健康こども未来部長	商工観光…商工観光部長
都市建設…都市建設部長	消防…消防部長

掲載記事は、質問議員本人が作成しており、質問全体の二部を要約したものです。質問全体の内容については、会議録に掲載していません。会議録は、議会事務局、市内図書館、公民館および上田市議会ホームページからご覧いただけます。

なお、一般質問は上田ケーブルビジョンおよび丸子テレビ放送のご協力により、生放送および録画放送を行っています。またインターネットによる生中継および録画配信も行っています。



コロナ禍における 固定資産税の軽減

古市 順子 (日本共産党)

問 菅平高原など観光宿泊業者の経営で、固定資産税は大きな負担となっている。今年度は事業資産にかかる固定資産税・都市計画税の軽減制度を実施したが、申請状況と軽減額、市財政への影響はどうか。

答 (財政) 軽減特例措置は845件、軽減税額は固定資産税4億9,392万円余、都市計画税3,223万円余であり、減収額は全額特別交付金として

措置されるため、大きな影響はない。

問 市町村は、国に対し今後も軽減制度の継続と減収補填を求めるべきではないか。また、上田市は、地方税の納税猶予の制度について市民に周知していく必要があるのではないか。

答 (財政) 今年8月の全国市長会の緊急提言は地域経済の回復に向け、継続的な支援を求めている。また、納税緩和措置等の周知を積極的に行い、納税者の実情に配慮し迅速かつ柔軟な対応を取っていきたい。

●その他の質問項目

1. 地域公共交通政策



市長公約の検証

小林 隆利 (社志会)

問 中小零細企業、個人事業主を支援し、経営資金を補うための「基金」を設立して、適正に運用すると公約しているが、検証内容はどうか。

答 (市長) 基金の設立については、事業者の皆様が今まで以上に資金調達しやすい環境を整備することが必要であると考え提言したものの、事業者の皆様とお話を重ねる中で資金調達の手法自体が問題ではないことが分かっ

た。また金融機関等とも協議する中で市独自の基金設立ではなく、市制度融資の拡充により、事業主の皆様の資金繰りの安定を図ることが得策という結論に至った。市長就任後、まず経営資源が不足しがちな小規模事業者向けの市制度融資の新たなメニューとして「小規模企業小口資金」を創設し、これまでに約200件の利用をいただいた。他に、市制度融資の見直しにより約500件以上の融資あっせんを行い、運転資金及び設備資金の双方から円滑な資金供給を実施した。



未来の学校教育

中村 悠基 (上志の風)

問 コロナ禍での教育機会確保のために遠隔教育を検討する必要があるが、見解はどうか。

答 (教育長) 授業においては対面での授業の効率が高いが、子供の充実した学びを実現するため、議員の考えも参考にしながら、子供にとって真に必要な授業の在り方とは何か、研究していく。

問 学年担任制は児童、生徒にとって相談しやすい体制であり、不登校を防ぐために有効な手

段であると考えているが、見解はどうか。

答 (教育長) 本年度、市内の中学校1校で新たに導入した。学年担当教員は全てのクラスに関わり、チーム支援を推進することで、学級担任1人では対応が難しい場合や、生徒にとっても担任のみの対応であると相談しにくい場合に有効である。学年担任制を導入し、担当教員全員で生徒の対応に当たることで、生徒にとっても相談しやすい環境づくりができ、不登校を防ぐ有効な手段であると考えている。



障がい者福祉

石合 祐太 (新生会)

問 障害者差別解消法改正への見解と今後の対応方針はどうか。

答 (福祉) 合理的な配慮を行うことが民間事業者に対しても義務化されたことから、障がい理解の推進、障がい者差別に当たる事例や過重な負担がない範囲での合理的配慮の提供など、一層周知啓発を行っていくことが重要である。関係機関との連携を強め積極的な周知等により、実効性を高めたい。

問 新本庁舎2階にある障がい福祉関連部署の窓口まで行くことが困難な方に配慮し、1階に出張スペースの配置を検討できないか。また、障がい当事者の方が新本庁舎で不便を感じる箇所があるので改善できないか。

答 (総務) 2階への移動が難しい方には1階総合窓口へ申し出をいただければ、担当課職員が1階へ降り、対応する。出張スペースの配置は今後の課題と捉えている。障がいのある方が不便を感じる箇所は、当事者と職員で問題点を共有し、解決に向けて検討したい。



消防団および防災活動

宮下 省二 (社志会)

問 消防団員の待遇改善策として団員報酬と出勤手当の支給を国に準じて完全実施する考えはどうか。

答 (市長) 消防団員の処遇改善が新規団員の加入と消防団員の意識の高揚につながると期待できることから国の基準額を基本とし、最大限の改善を図りたい。

問 上田市消防委員会へ諮問して、来年4月の実施となると早急な対応が必要ではないか。

答 (市長) 9月末に諮問し、答申は年内を想定しており、令和4年4月の実施を目指し、最終判断をしたい。出勤報酬は実際の活動時間に合わせた支給単位の検討も必要である。

問 ポンプ操法大会の活動改善策として義務から任意参加への選択制導入は可能か。

答 (消防) 主催者である公益財団法人日本消防協会から見直す方向が示され、地方大会でも検討するように示されている。

答 (市長) 地域防災力の向上のための技術の習得と団員の負担軽減のため訓練の全体的な組立の検討を含め、今後消防団と協議をしたい。



観光関連事業者に対する支援事業

渡辺 正博 (日本共産党)

問 観光関連事業者への事業継続のための支援策は関連事業者の皆さんに歓迎され、支援の効果が発揮されたと総括できると考えるが、長引くコロナ危機でさらなる直接支援、間接支援を望む声も多くある。今後どのような支援が必要であると考えるか。

答 (商工観光) 厳しい経営状況に置かれた観光関連事業者に対し、様々な支援を実施してき

た。コロナ禍における新たな旅のスタイルが浸透するとともに、観光需要は徐々に戻りつつある。今後は観光産業全体の復活に向け、誘客促進につながる支援が必要であると考えている。また、首都圏エリアに対し、信州上田観光協会や庁内関係課と連携し、集中的なPRを実施することで、誘客促進を図り、観光関連事業者の支援につなげていきたい。各観光協会など関係団体の皆様のご意見、ご要望をお聞きするとともに、国や県の支援事業とも連携を図りながら、効果的な支援が実施できるよう検討したいと考えている。



狭隘道路

佐藤 論征 (新生会)

問 狭隘道路解消の取組は、安全で快適な住宅市街地の形成を図るとともに、空き家対策、移住定住、財産価値を守る観点等からも非常に重要である。狭隘道路解消のための道路後退について、他市では要綱を制定し事業を推進しているが、上田市で要綱が制度化されない理由と制度の必要性はどうか。

答 (都市建設) 全体事業費で1億4千万円、そのうち市負担分が7千万円程度と試算され、

財源など様々な課題があり事業化に至らないが、狭隘道路の解消は必要と認識している。

問 道路後退の申請全てに対し制度を適用することが公平で望ましいが、財政的に困難であれば、空き家対策、移住定住など様々な観点で地域を選定しながら、制度を導入することはできないか。

答 (都市建設) 政策的視点で地域を絞ることで、歳出を抑え、効果が得られるとすれば有効だと考える。事業導入検討の上で大切な視点として捉えたい。



若年層の感染症対策

池田 総一郎 (上志の風)

問 新型コロナウイルスワクチン接種に対して若年層に否定的な考えがあるようだが、市はどのように啓発していくのか。また、学齢期、小中学生の感染者が増加している中、学校での感染リスクを軽減させる対策について教育委員会の見解はどうか。

答 (健康こども) 動画やSNS等も活用し、若い人たちに関心を持ってもらえるよう工夫を凝らしながら情報発信に努め、ワクチンを接

種することで得られるメリットについて丁寧に説明し、不安を取り除くよう努めたい。

答 (教育長) 感染リスクの高い学習活動や安全な実施が困難であると判断する学校行事は中止または延期を検討する。緊急事態宣言等が出た場合には分散登校や家庭でのオンライン授業も検討するが、これまでの感染症対策を変えずに維持することが重要と考える。

●その他の質問項目

1. 市の財政

狭隘道路 (きょうあいどうろ) …市内の建築物が立ち並んでいる幅員4m未満の道路

SNS …ソーシャルネットワーキングサービス (Social Networking Service) の略で、登録された利用者同士が交流できる Web サイトの会員制サービス



認知症の方の新型コロナウイルス感染症対策

金井 清一 (社志会)

問 認知症の方が感染または感染の疑いがある場合に、家族から寄せられた相談状況はどうか。また、相談窓口を周知しているか。

答 (福祉) 高齢者介護課や市内 10 カ所の地域包括支援センターには、高齢者の皆さんから、交流や外出ができないことへの不安や、ワクチン接種に関することなどのご相談や問い合わせをいただいているが、家族から認知症の

方の感染や感染が疑われる場合の相談はない。相談窓口は、高齢者介護課や新型コロナウイルス感染症対策室のほか、感染症全般に関しては、県の新型コロナウイルスお困りごと相談センターなどがあり、広報うえだ、ホームページなどで、市民の皆様にお知らせしている。また、認知症の方やそのご家族に対しては、地域包括支援センター等の職員がご自宅を訪問する機会などを活用し、情報提供に努めている。

●その他の質問項目

1. 森林経営管理制度と森林環境譲与税



テレワークの実施状況

林 和明 (新生会)

問 感染症対策や、働き方改革を念頭に置いた今後のテレワークの在り方はどうか。

答 (総務) 令和 2 年 6 月以降は全庁での取組は実施していないが、職場における新型コロナウイルス感染症の感染予防対策として、妊娠中の女性職員に配慮するよう国が通知をしていることを踏まえ、まずは妊娠中の職員を対象にテレワークを実施していきたいと考えている。

市民に身近な行政機関として上田市でのテレワークの在り方については、この取組を進める中で課題の検証を行い、テレワークによる公務能率の向上の効果と、市職員のワーク・ライフ・バランス実現の有用性等について検討していきたいと考えている。

●その他の質問項目

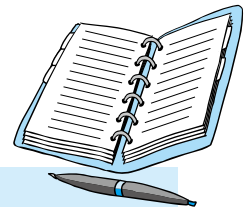
1. 投票率向上の取組

傍聴者の声

本会議を傍聴されたみなさんの声

～こんなご感想・ご意見をいただきました～

9 月定例会本会議の傍聴者数は延べ 20 人でした。傍聴された皆さんから寄せられた、ご感想やご意見の一部を紹介します。



- コロナ禍での一般質問の時間短縮は素晴らしいと思います。(50 代・女性)
- 内容が濃く勉強になりました。(70 代・男性)
- 初めての傍聴者向けに、議員の情報などがわかるものがあるとありがたい。(30 代・女性)



救命救急センターの設置

飯島 伴典 (上志の風)

問 市内の救急搬送のうち、市在住の方の搬送数や域外搬送の状況はどうか。

答 (健康こども) 平成30年度は救急搬送収容人員9,664人、域外搬送の割合は12.3%であり、令和2年度は救急搬送収容人員8,036人、域外搬送の割合は11.6%であった。

問 上田地域広域連合との救急に関する課題の共有状況はどうか。

答 (健康こども) 2025年、2040年と超高齢社

会の到来に向けた救急体制の維持等の将来予想される課題に対し、広域連合の中心市として連携し積極的に取り組みたいと考えている。

問 命を救う目的で市内に救命救急センターを設置してはどうか。

答 (市長) 今後、県や関係機関との情報交換をより一層密に進める必要がある。様々な課題を整理し上田市の方向性を見いだしていきたいと考えている。



地域の企業への就職を促進するための奨学金返還支援

松尾 卓 (公明党)

問 奨学金返済は経済的に負担となり、返還支援への関心やニーズが高い。市が昨年度導入した学生等地域就職促進奨学金返還支援事業の実績や課題はどうか。

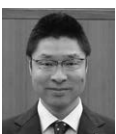
答 (商工観光) 現在、制度を活用している事業所はない。課題として奨学金貸与の有無による不公平感や企業からの手当が課税対象になることなどがある。

問 上田地域広域連合を主体とした基金創設が考えられるが、上田地域広域連合長として構成市町村長に働きかける考えはあるか。

答 (市長) 制度の充実を図るため、国の制度活用や現行制度の見直しは必要であり、広域的な取組は選択肢と考えられる。当市がリーダーシップを取り、近隣市町村と意見交換の場を設けられるよう働きかけていきたい。

●その他の質問項目

1. 流域治水



新型コロナウイルス感染症対策

斉藤 達也 (新生会)

問 感染予防の行動を市民に促すためには、市内の感染者数だけではなく、感染に至るまでの状況や傾向に関する具体的な情報をメールやSNSで発信すべきと考えるが、見解はどうか。

答 (健康こども) 感染リスクが高い行動事例としては、県内の感染事例として県全体の傾向を県がホームページ等で紹介している。個別

の感染経路等については、市としては詳細な情報を把握していないため、市民に具体的にお知らせすることは難しいが、県から提供される情報等を確認しながら、注意喚起につながるわかりやすい情報を発信していきたい。今後さらに保健所等とも連携を図る中で、感染拡大防止につながる情報等については、可能な限り提供いただくよう改めて依頼し、市民等にもお知らせしていきたい。



地球温暖化対策

齊藤 加代美 (新生会)

問 家庭での「再生可能エネルギー」への転換を民間企業やNPOと連携し、加速化することは考えられないか。

答 (生活環境) 今年度から、住宅の太陽光発電と太陽熱利用システムの補助対象に、発電した電気を蓄電するシステムと事業者向け太陽光発電を加え、普及促進を図っている。初期設置費用のかからない太陽光発電の導入方法を扱う民間企業、NPOとも連携し、普及を

図る。

問 地球温暖化対策は、環境を軸に、都市計画、交通政策、福祉政策、子育て、教育、全てに関わる課題であり、部局横断的に取り組むべき重要な政策である。庁内横断的なチームを組織し、専門家の意見を取り入れ、遂行していく考えはないか。

答 (市長) SDGsの理念や考え方を基本に据え、専門家の知見も取り入れた部局横断的な組織構築の具体的な検討に入りたい。

●その他の質問項目

1. 地域医療政策



市道認定の見直し

尾島 勝 (新生会)

問 現在公表されている上田市道路位置指定に関する取扱要領と技術基準には、位置指定道路から市道認定に移行する場合の必要経過年数や上下水道設備について掲載されていないことから、公表すべきと考えるが見解はどうか。

答 (都市建設) 位置指定道路を、将来的に市道認定を希望する場合、築造計画の段階で市道認定基準等を満たすよう整備することが費用面からも合理的であると考え。事前協議での詳細な説明に加え、現在公表している位置

指定道路の取扱要領、技術基準と併せて、市道認定基準等についてもホームページに掲載していく。

問 市道認定条件を満たした位置指定道路は短期間で自動的に市道に移行できるよう市道認定基準の見直しをすべきと考えるがどうか。

答 (都市建設) 事業者等の過度の負担が生じないように、また市道認定後の維持管理費用の観点、他市の状況、社会情勢等も踏まえながら、議員の提案も含め総合的に検討していく。

一般質問は、上田市議会インターネット中継専用サイトで配信も行っています。ぜひご覧ください。



上田市議会
インターネット
中継専用サイト

お知らせ



マチイロ

マチを好きになるアプリ

市議会だよりは、スマートフォンやタブレット向けのアプリ「マチイロ」からもご覧いただけます。



Android版



ios版

上田市議会フェイスブックとツイッターでも議会のお知らせをしていますので、ぜひご覧ください。



Facebook



Twitter



学齢期における子どもの健康づくり

佐藤 清正 (社志会)

問 小中学校での新型コロナウイルス感染症の感染状況と対応はどうか。

答 (教育長) これまでにないスピードで感染者が急増している。基本的な感染症対策に加え、チェックシートにより家庭と連携した健康観察を継続実施している。

問 市内の子どもの健康状況はどうか。

答 (教育長) 全国体力・運動能力等調査では、

全国や県平均と比較すると基礎体力の低下が課題である。学校保健統計調査では肥満の割合が平均より高く、痩せ過ぎの割合も小学生女子と中学生男子が平均を上回っている。

問 「子どもの健康日本一」を目指して取り組むことを提言したいがどう考えるか。

答 (教育長) 大変重要な視点で、家庭や地域ボランティアと連携し、教育委員会の総力を挙げ、基本施策の推進を図りたい。

●その他の質問項目

1. コロナ禍における市の財政



有機物リサイクル施設建設事業

久保田 由夫 (日本共産党)

問 有機物リサイクル施設の建設候補地として、丸子地域陣場地区の旧畜産団地跡地を選定した理由は何か。

答 (生活環境) 1点目は、有機物リサイクル施設の設置により、地域の課題が解決につながることであり、2点目は、住家から離れているが、収集効率の面から適度に近く、新たに土地を求める必要がないことである。また、

3点目は、できた堆肥を身近で農業利用できることである。

問 今回の有機物リサイクル施設の建設事業は、公表したからには失敗するわけにはいかない事業である。市長の覚悟はどうか。

答 (市長) 施設整備はスケジュールありきで進めるのではなく、地域の皆様との対話を重視して、地域にとってよりよい施設を造り上げていく。最も懸念される臭気対策は、最新の技術なども検討し、万全の対策を講じる。

●その他の質問項目

1. コロナ禍から考える子ども・子育て支援



上田市の防災・減災

井澤 毅 (新生会)

問 上田市立地適正化計画の居住誘導区域は、上田区域の右岸一部と左岸のほとんどが洪水氾濫による家屋倒壊危険区域であること、丸子区域も多くが洪水氾濫による家屋倒壊危険区域であり、また、ほとんどが土石流危険渓流地域であることを把握しているか。

答 (都市建設) 指摘のとおりである。

問 洪水災害と土砂災害は「起こり得る事が起こり得る場所で発生する」と言われている。ハ

ザードマップ上の危険区域を居住誘導区域に設定していることに問題はないか。早急に見直す必要があると考えるが、見解はどうか。

答 (都市建設) 都市再生特別措置法の改正により立地適正化計画に防災指針を追加することとされたことを受け、計画の見直しを令和4年度から5年度に予定している。計画と防災対策の連携強化を図っていきたい。

●その他の質問項目

1. 令和元年東日本台風災害の検証と教訓
2. まるごとまちごとハザードマップ

本会議をぜひご覧ください。

ご自宅で

インターネット中継

9月定例会から本会議の生中継及び録画配信を開始しました。

- ・パソコン、スマートフォン、タブレット端末などで視聴できます。
- ・録画配信は、議員名、会派名、会議名で検索できます。また、用語検索もできます。



上田市議会インターネット中継専用サイトはこちら



議場で

傍聴

- Q 傍聴ができる方は？ A どなたでも議会の傍聴ができます。
- Q 事前の手続きは？ A 市役所本庁舎5階の議会事務局で受付をして傍聴券を受け取ってください。なお、現在、新型コロナウイルス感染症対策として、氏名・住所・電話番号の記入、検温にご協力をいただいておりますのであらかじめご了承ください。
- Q 予約は必要？ A 必要ありません。(大人数で傍聴にお越しの際は事前にご相談ください。)
- Q 満席の場合は？ A 議場には入れませんが、議場外に設置のモニターで視聴できます。



12月定例会は**11月29日** 開会予定です。

日程が決まりましたら、11月下旬に市議会ホームページに掲載します。



上田市議会ではタブレット端末を導入しています。

上田市議会では、議会改革の取組として、ICT化を推進するため、令和3年6月定例会から本会議、委員会でタブレット端末を導入し、使用しています。

また、タブレット端末の有効活用を図るため、議員間での研修を行っています。

- 議事の効率化** …………… 本会議や委員会での資料の閲覧等を行います。
- ペーパーレス化** ……… 紙で配布していた議案書等をデータで配布します。
- 情報共有の迅速化** …… 災害発生時に災害情報の共有などを行います。



皆さんからの請願・陳情 4 件を審査

請願

請願番号	件名	提出者	審査結果
請願第 3 号	沖縄戦戦没者の遺骨等を含む土砂を埋立てに使用しないよう求める請願	非核・平和・憲法を護る上小の会 会長 林博信 氏 (紹介議員 石合祐太議員)	不採択

付託委員会 厚生委員会 委員会審査結果 賛成者なしにより、「不採択とすべきもの」と決定

本会議における討論

賛成討論 (成瀬議員)

「戦没者の遺骨収集の推進に関する法律」の規定により策定された「戦没者の遺骨収集の推進に関する基本的な計画」の取組方針の内容や、遺族の方などの声から、多くの遺骨が残された土砂を埋立てに使用することは、倫理観や法を遵守する精神が欠如していると言わざるを得ない。

政府は法の遵守と人道的な観点から、沖縄戦戦没者の遺骨等を含む土砂を埋立てに使用することはやめ、「戦没者の遺骨収集の推進に関する基本的な計画」に基づき遺骨収集に全力を挙げるべきであり、本請願は採択すべきと考える。

※反対討論は無し

本会議審議結果 賛成少数により、「不採択」と決定

○：賛成 ×：反対 議：議長（議長は表決に加わりません）

請願番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	金子	成瀬	松尾	中村	金井	石合	欠員	小坂井	松山賢	古市	金沢	飯島	原	宮下	齊藤	齊藤	井澤	土屋	西沢	久保田	渡辺	半田	池上	池田	南波	佐藤	小林	林	佐藤	尾島
	和夫	拓	卓	悠基	清一	祐太		二郎	太郎	順子	広美	伴典	栄一	省一	達也	代美	毅	勝浩	逸郎	田夫	正博	大介	喜美子	総一郎	清吾	清正	隆利	和明	論征	勝
第3号	×	○	×	×	×	○		×	×	○	×	×	×	×	×	×	議	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×

※議員氏名の上の数字は議席番号です。

請願番号	件名	提出者	審査結果
請願第 4 号	トリチウム等を含む処理水の処分方法について再検討を求める意見書の提出を求める請願	非核・平和・憲法を護る上小の会 会長 林博信 氏 (紹介議員 石合祐太議員)	継続審査

付託委員会 環境建設委員会 委員会審査結果 「閉会中の継続審査が妥当である」との動議があり、採決の結果、可否同数となり、委員長裁決により「閉会中の継続審査とすべきもの」と決定

本会議審議結果 全会一致により、「閉会中の継続審査に付すること」と決定

「審査」…委員会で、付託された議案などについて議論し、結論を出す一連の過程。

「審議」…本会議で、議案などについて説明を聞き、質疑、討論、表決するといった一連の過程。

陳情

陳情番号	件名	提出者	審査結果
陳情第6号	「さらなる少人数学級推進と教育予算の増額を求める意見書」採択を求める陳情	上田市教職員組合 執行委員長 高木義隆 氏	不採択
陳情第7号	「へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すこと」を長野県知事に求める陳情	上田市教職員組合 執行委員長 高木義隆 氏	不採択

市議会では、皆さんの要望などを 請願や陳情として受け付けています。

提出された請願や陳情は内容を審査し、採択か不採択を決定します。

請願

請願権は、憲法において基本的権利として認められています。

所管する委員会に付託して審査を行います。その結果をもとに、本会議で結論（議決）を出します。

請願を紹介する議員が必要です。なお、紹介議員は2人以内です。

陳情

陳情は、請願に準じた取扱いをしています。

受理された場合は所管する委員会に付託して審査を行いますが、本会議での議決は行わず、委員会の審査結果を本会議で報告します。紹介議員は必要ありません。

記載要件

- ・日本語を用いること
- ・議長宛てであること
- ・次のことが記載されていること

趣旨、提出年月日、住所及び請願・陳情者の署名または記名・押印（※法人の場合はその名称及び代表者の署名または記名・押印）、紹介議員の署名または記名・押印（※請願の場合）

趣旨説明

請願・陳情の趣旨を明確にするために、提出者の希望により趣旨を説明する機会を設けています。

12月定例会で審議・審査する請願・陳情の提出期限

11月30日(火) 午後3時 詳細は上田市議会ホームページをご覧ください



市議会 レポート

「議会タブレット導入研究委員会」で オンライン行政視察を実施しました。

議会タブレット導入研究委員会では、議会ICT化に向けた他市議会のタブレット端末導入の先進事例等を学び、今後の委員会活動に役立てるため、8月11日に行政視察を行いました。

当日は、新型コロナウイルスの感染状況を考慮し、貸与されているタブレット端末を活用したオンライン視察となりました。



松本市議会への視察

「委員会行政視察実施報告書から抜粋」

議会タブレット及び各種アプリケーションの導入やタブレット端末の運用などについて視察を行い、導入により効果が上がっている点について教えてもらった。

従来の郵送・印刷に係る手間の削減や審議・審査や調査・研究における発展的利用により、効果を上げていることも教えてもらい、参考となった。また、所属委員会以外の資料も全議員が共有できる仕組みをつくっていることも学びとなった。

飯田市議会への視察

「委員会行政視察実施報告書から抜粋」

タブレット端末導入までの経過、現状と課題認識、今後についての考察の項目ごとにレクチャーを受けた。

ICTの活用に個人差があることは否めないが、今までよりも、煩雑になる書類整理などへ割く時間を、より効率的に議員活動へシフトできることが予測されることから、今後も、目的を意識し、さらには、時折振り返りバージョンアップを図りながら議会ICT化は推進すべきだと感じた。

手話を学ぼう

市議会だよりでは、「いま覚えてほしい手話」をお伝えしています。

今回のテーマは

「笑顔」が「素敵」

“長野県ホームページ”
「手話辞典」



「笑顔」



顔の横で、両手の親指とその他の指を近づけたり、離したりを2回ほど繰り返す。

「素敵」



鼻にあてた右手こぶしを右斜め上へ素早く動かす。

表紙デザインコンテスト受賞者の声

坂口満明さん

表紙デザインコンテストの表彰をいただき、ありがとうございました。
上田城櫓門右側にある城のシンボル「真田石」を魚眼レンズで撮影しました。